

5 各種調査結果から抽出された課題の整理

各種調査結果から抽出された主な課題は以下のとおりです。

(1) 中空知地域公共交通ネットワークに係る課題

1	各市町の状況に応じた生活圏交通の確保	2	利用者数等に応じた広域交通・生活圏交通の維持・確保	3	各市町の状況に応じた自家用車に依存しない交通体系の構築
4	各交通モード間の接続性向上によるシームレスな交通体系の確保	5	アフターコロナを見据えた公共交通による観光目的での円滑な移動の支援	6	利用実態に応じた運行規模の適正化による持続可能な広域交通の確保
7	バス運転手の確保	8	地域全体での交通ネットワークの最適化		



- 路線の維持・確保に向け、それぞれの交通ネットワークの利便性を向上させるとともに、シームレスな接続などにより、相互に作用する持続可能な交通ネットワークの構築が必要
- 交通ネットワークの利便性向上に加え、住民のみならず来訪者も含めた公共交通利用者が、より利用しやすく、分かりやすい施策・取組が必要

6 基本的な方針及び計画の目標

(1) 求められる公共交通の役割及び課題から導き出される将来像・基本方針

「2 関係法令、上位・関連計画と本計画の位置付け」で求められる公共交通の役割、「3 地域の概況」、「4 地域の移動特性・ニーズ」及び「5 各種調査結果から抽出された課題の整理」を踏まえ、本地域における地域公共交通ネットワークの将来像と、その実現に向けた基本方針を以下のとおりとします。

1) 将来像及び基本方針

【中空知地域が目指すべき将来像】

地域全体で有機的に連携した持続可能な交通ネットワークの構築

基本方針 1 :	各交通ネットワークの利便性の向上により相互に高め合う持続可能な公共交通の確保	対応する課題	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の将来を見据えた、持続可能な交通ネットワークの構築にあたっては、限られた輸送資源の中で各公共交通機関の持続性を確保していくことが必要です ・そのためには、利用実態を絶えず検証するとともに、それぞれの交通ネットワークが相互に連携し、利便性を補うよう公共交通体系を構築することが重要です ・現況及び課題等を踏まえると、地域の実情を踏まえた持続可能な公共交通の確保に向け、利用実態に応じた運行規模の適正化を図りながら、交通モード間の接続性を高めるダイヤの見直しなど、広域交通及び生活圏交通が有機的に繋がった交通ネットワークの構築が必要です 			

基本方針 2 :	公共交通の利便性を向上させる移動支援策及び利用促進策の実施	対応する課題	3, 4, 5
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域における交通ネットワークの維持にあたっては、基本方針 1 で掲げる交通ネットワークの構築や運行規模の適正化のみならず、公共交通の利用を増やしていくことが重要です ・人口減少下にあっては、住民だけでなく、地域外から訪れる方の利用を増やすことも重要であり、住民・来訪者の両者にとって、公共交通が利用しやすくなるような移動支援策及び利用促進策が必要です 			

2) 将来像の実現に向けた基本方針に基づく目標

目標①	中空知地域全体で連携した交通の確保
<p>住民をはじめとする多様な利用者に対応した、持続可能な広域交通・生活圏交通を維持・確保していくため、国、北海道、中空知9市町、JR北海道及びバス事業者が互いに連携し、各交通の接続性を高めるなど利便性の向上とともに、利用実態に応じた運行規模の適正化を図りながら、効率的な交通ネットワークの構築を図ります</p>	

目標②	公共交通を安定して維持するための利用者の確保
<p>各公共交通機関を維持していくためには、住民や本地域への来訪者に対する広域交通・生活圏交通の利用促進や、利便性向上に向けた環境整備を進める必要があります</p>	

(2) 公共交通の維持・確保の方針

本地域で目指す交通ネットワークについて、路線ごとの役割を明確化した上で、実現に向けて取り組む方向性は以下のとおりです。

1) 広域交通（地域間幹線系統）の維持・確保の方針

方面	本計画の位置付け	運行主体	路線系統名 (R3輸送量)	役割	維持・確保の方針
雨竜町・北空知方面	広域交通（地域間幹線系統）	空知中央バス	深滝線 (46.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市、雨竜町と北空知地域の地域中心都市である深川市を結ぶ ・主に滝川市及び深川市への通学・通院に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める
			滝深線 (27.0)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市と北空知地域の地域中心都市である深川市を結ぶ ・主に滝川市及び深川市への通勤・通学・通院に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める
赤平市・芦別市方面		中央バス	滝芦線 (73.8)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市と赤平市・芦別市方面を結ぶ ・主に滝川市への通勤・通学・通院・買い物に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める ・路線単体ではなく、地域全体での交通ネットワークの最適化を検討していく
上砂川町・歌志内市方面			歌志内線 (73.2)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市及び砂川市と上砂川・歌志内方面を結ぶ ・主に滝川市及び砂川市への通勤・通学・通院・買い物に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める ・路線単体ではなく、地域全体での交通ネットワークの最適化を検討していく
奈井江町・南空知方面			滝川美唄線 (13.6)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市及び砂川市と奈井江町を結ぶ ・主に滝川市及び砂川市への通勤・通院に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める ・美唄・奈井江間の最適な交通手段の確保など、路線単体ではなく、地域全体での交通ネットワークの最適化を検討していく
		滝川奈井江線 (16.3)			

方面	本計画の位置付け	運行主体	路線系統名 (R3輸送量)	役割	維持・確保の方針
新十津川町方面	広域交通 (地域間幹線系統)	中央バス	滝新線 (63.9)	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市と新十津川町を結ぶ ・主に滝川市及び新十津川町への通勤・通学・通院に利用されている ・滝川市民の市内移動に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通体系について検討を進めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助金)を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める
		誠和運輸	新十津川線	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の地域中心都市である滝川市と新十津川町を結ぶ ・主に滝川市への通勤・通学・通院に利用されている ・R4.4月に再編を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態やニーズなど利用動向を注視しながら、引き続き地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助金)を活用し、利用促進策等を実施しながら、移動手段の確保に努める

※滝新線及び新十津川線については、新十津川町地域公共交通計画と取組内容や計画の内容について整合を図る

2) 生活圏交通（地域内フィーダー系統）の維持・確保の方針

本計画の位置付け	運行主体	路線系統名	役割	維持・確保の方針
生活圏交通 (地域内フィーダー系統)	中央バス	滝川市内線	<ul style="list-style-type: none"> 滝川市街地の居住地域と生活関連施設を結ぶ 主に通学・通院・買い物等の滝川市内の移動に利用されている 交通結節点である滝川駅で他の公共交通機関と接続するフィーダー交通 	<ul style="list-style-type: none"> 滝川市の財政支援のほか、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造実現に向けた路線の維持・確保に努める
	砂川市 (※)	乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 砂川市全域とまちなか乗降地を結ぶ 主に砂川市立病院や公共施設に行く際や、買い物、JRやバス路線への乗り継ぎに利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、路線バスや都市間バス、JR函館本線との接続による利便性の向上や積極的な周知活動を行い、持続可能な運行を確保する
	奈井江町 (※)	町営バス (市街地循環線、向ヶ丘線)	<ul style="list-style-type: none"> 居住地域と市街地及び交通結節点である奈井江駅を結ぶ 主に奈井江町内の病院・歯科医院への通院・買い物・金融機関等への移動に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、路線バスやJRとの接続による利便性向上や新規需要の掘り起こしなど利用者増加に努め、持続可能な運行を確保する
		乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 農村地区の居住地域と町内連絡施設を結ぶ 主に奈井江町内の病院・歯科医院への通院・買い物・金融機関等への移動に利用されている 	
	上砂川町 (※)	乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 上砂川町全域と町内及び砂川市内の連絡施設を結ぶ 主に上砂川町内の移動や砂川市への通院・通勤・買い物等に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、積極的な周知活動を行うことで利用促進を図り、持続可能な運行を確保する
	美唄自動車学校	月形浦臼線	<ul style="list-style-type: none"> 浦臼町及び月形町の要請により、浦臼駅と各市町の交通結節点を結ぶ 主に月形・当別・札幌方面への通学・通院に利用されている 月形当別線へ乗り継ぎ、JR学園都市線に接続するため、札幌への移動にも利用される 	<ul style="list-style-type: none"> 浦臼町及び月形町の財政支援のほか、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、積極的な周知活動を行うことで利用促進を図り、持続可能な運行を確保する
浦臼砂川線		<ul style="list-style-type: none"> 浦臼町の要請により、浦臼駅と各市町の交通結節点を結ぶ 主に奈井江、砂川、滝川、岩見沢方面への通学・通院に利用されている JR函館本線や滝川美唄線・滝川奈井江線に接続するため、滝川、岩見沢、札幌への移動にも利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 浦臼町及び奈井江町の財政支援のほか、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、積極的な周知活動を行うことで利用促進を図り、持続可能な運行を確保する 	

(※) は、運行を交通事業者に委託しているもの

本計画の 位置付け	運行 主体	路線 系統名	役割	維持・確保の方針
生活圏 交通 (地域内 フィーダー 系統)	ビジコー	乗合 タクシー (鶴沼線、 晩生内線)	<ul style="list-style-type: none"> ・浦臼町の要請により、町内居住地域と町内連絡施設を結ぶ ・主に浦臼町内の移動や浦臼町外への通学・通院に利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦臼町の財政支援のほか、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しながら、積極的な周知活動を行うことで利用促進を図り、持続可能な運行を確保する

7 目標を達成するための施策・事業

(1) 目標に基づく施策

各目標の達成に向けた施策及び取組内容は以下のとおりです。

目標①	中空知地域全体で連携した交通の確保	
施 策 ①	路線の維持・確保・最適化及び交通ネットワークの確保	
目 的 等	<ul style="list-style-type: none"> 各公共交通機関及び関係者と連携し、路線の維持・確保・最適化に努めます 運行サービス水準の適正化を検討し、交通ネットワークを確保します 交通空白地域解消や住民が居住地域、運転免許及び自動車の保有状況によらず、まちなかまで移動することができるなど、地域の実情に即した生活圈交通を確保します バスの運行に必要な運転手の確保に努めます 	
取 組 概 要	<ul style="list-style-type: none"> 一定数の利用者が確保されている路線について、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金・地域内フィーダー系統補助）等を活用し、路線の維持に努めます 他の公共交通機関と接続するフィーダー交通について、接続性を確保します 利用者が減少傾向にあり、取組主体による運営努力だけでは、今後の運行継続が難しくなることが想定される路線について、沿線の関係自治体や交通事業者等により持続可能な交通体系の検討を進めながら、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、路線の維持・確保に努めます 限られた輸送資源を有効活用するためにも、路線単体ではなく、地域全体での交通ネットワークの最適化を検討します バスの運行に必要な運転手を確保するため、運転手の業務について情報発信を行い、人材確保に努めます 	
取 組 主 体 (連携団体・協力団体等)	国、北海道、中空知9市町、交通事業者	
取 組 内 容	国	<ul style="list-style-type: none"> 他の公共交通機関からの接続状況の改善、交通ネットワークの最適化に向けて、必要な助言や先行地域の事例の情報提供を行います 各交通モードの運行状況を確認し、必要な助言や先行地域の事例の情報提供を行います バス運転手の確保に関する施策の実施に向けて、必要な助言や先行事例の情報提供を行います
	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用促進や他の公共交通機関からの接続状況の改善に向けて、必要な助言を行います 沿線自治体をはじめとした関係者と路線の維持・確保方針を必要に応じて見直すとともに、地域全体での交通ネットワークの最適化に向けた協議を進めます 振興局が実施する合同企業説明会などでの広報活動をはじめとしたバス運転手確保策の検討を事業者と連携して行います

取組内容	中空知 9市町	<ul style="list-style-type: none"> ・路線の維持や交通ネットワークの最適化に向けた協議を進めます ・地域の移動実態を踏まえ、必要に応じて生活圏交通のダイヤの見直しを検討するなど、路線の接続状況の改善を図ります ・市町で策定する他のまちづくり計画との連動性や施設の立地状況を踏まえ、地域に望ましい運行水準を検討・提案します ・路線の接続状況の検証や乗車人員などの利用実態を把握し、必要に応じて、関係市町や交通事業者に対し、他の公共交通機関からの接続の改善を提案します ・バス運転手の確保に向けて、バス事業者と連携しながらホームページ等を活用した情報発信や採用説明会の開催等の取組を実施します 				
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・路線の維持や交通ネットワークの最適化に向けて、利用実態データに基づいた必要な取組を協議会に提案します ・年1回以上、乗車人員などの利用実態を把握し、協議会に情報提供を行います ・ダイヤ変更に伴い、路線の接続を見直す必要がある場合には、事前に取組主体間で情報共有を図り、シームレスな接続を継続的に確保します ・バス運転手の確保に向けて、採用説明会等の取組を実施します 				
スケジュール	取組内容	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)	R 9年度 (2027)
	路線の維持・確保・最適化に向けた検討・協議	深滝線・滝深線・滝新線・滝川奈井江線・フィーダー系統：年1回実施 歌志内線・滝芦線：R 5年度中に検討・協議を実施 検討結果を反映				
	交通手段確保に向けた検討	滝川美唄線：検討・協議を実施 検討結果を反映				
	バス運転手の人材確保に向けた取組	先行事例等の情報提供 合同企業説明会・採用説明会の開催・情報発信				

目標②	公共交通を安定して維持するための利用者の確保
-----	------------------------

施 策 ② 地域内外に向けた情報提供体制の強化

目的等		公共交通と移動目的がリンクした分かりやすい情報提供を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を多くの場面で活用いただくため、分かりやすい情報提供に努めます 本地域の住民だけでなく、来訪者も活用できる情報提供を目的として、広報誌などのアナログ情報媒体や各市町のホームページやSNSなどデジタル情報媒体を活用した情報発信を行います 情報提供にあたっては、各公共交通機関の時刻表や移動ニーズが高い施設までの移動例など、公共交通を使った移動を支援する内容を検討します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		国、北海道、中空知9市町、交通事業者				
取組内容	国	・情報提供体制の構築時に、必要な助言や先行地域の事例の情報提供を行います				
	北海道	・振興局ホームページでの時刻表などの情報提供を行います				
	中空知9市町	<ul style="list-style-type: none"> アナログ情報媒体での情報提供を基本としながら、デジタル情報媒体による情報提供についても、検討・実施します 主な訪問者として想定される観光客への情報提供に向け、各自治体の観光部局や観光協会と連携した取組を検討・実施します 				
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 全ての人に分かりやすい運行内容の掲示に努めます 自治体等と協力し、アナログ情報媒体の地域の交通結節点への配架や時刻表をはじめとしたデジタル情報の事業者ホームページへの掲載を行います 				
スケジュール	取組内容	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)	R 9年度 (2027)
	情報提供体制の強化	<p> 広報誌・HPでの公共交通情報の提供 地域に望ましいデジタル情報媒体による情報提供の検討 情報提供の実施 </p>				

施 策 ③ 利便性を向上させる多様な移動支援及び利用促進策の実施

目的等		通院・買い物等の移動における公共交通利用の意識醸成や、公共交通の利便性向上を図るため、多様な移動支援及び利用促進策を実施する。				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び各市町を訪れる方が、広域交通・生活圏交通を利用して移動しやすい環境づくりに努めます ・本地域の住民だけでなく、来訪者も活用できる情報の発信や公共交通を利用した観光イベントの企画など、利用促進策の実施に努めます ・JR北海道と地域が作成するアクションプランや根室本線対策協議会で検討される利用促進の取組を推進します ・JR函館本線では、令和6（2024）年4月からKitacaを各駅に導入します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		国、北海道、中空知9市町、交通事業者、商工会				
取組内容	国	・移動支援策や利用促進策の検討時に、必要な助言や先行地域の事例の情報提供を行います				
	北海道	・振興局職員を対象としたノーカードーを実施します ・Kitaca等ICT技術の活用に関する勉強会を開催し、シームレス交通の実現について検討します				
	中空知9市町	・各市町の状況に応じて、スクールバスの混乗や運賃助成など、移動支援及び利用促進策の実施に努めます				
	交通事業者	・路線図等のホームページ掲載や公共交通を利用した観光イベントの企画など、移動支援及び利用促進策の実施に努めます				
	商工会	・各市町や交通事業者が行う移動支援及び利用支援策について、必要な助言や連携した取組の実施に努めます				
スケジュール	取組内容	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
	地域の実態に応じた取組の実施					
	Kitacaの導入に向けた取組	導入に向けたPR		各駅（旭川～岩見沢）への導入		